

長野県植物誌改訂 研究史資料 2：豊国秀夫

大塚 孝一 *

豊国秀夫氏略歴：

1932 年(昭和 7 年)1 月 29 日北海道室蘭市生まれ。北海道大学理学部、同大学院理学研究科博士課程修了。1962 年に理学博士。

博士學位論文タイトル；*Conspectus Gentianacearum japonicarum* (日本産リンドウ科植物の分類学的研究)。専攻は植物分類学・植物地理学。旭川女子短期大学助教授、旭川大学教授を経て、1978 年(昭和 53 年)4 月から信州大学教養部教授。1988 年(昭和 63 年)4 月より長野県植物研究会会長。1992 年(平成 4 年)9 月 26 日病気のため死去(60 歳)。

植物分類学者の豊国秀夫先生の印象といえ、信州大学の研究室へ伺った時のご対応がとても丁寧で物静かなことです。植物研究会の事務を一手にこなされていた。清水建美先生が金沢大学へ転出され、次期会長をどうするかとの議論もあったと覚えているが、後をつがれ研究会の二代目会長に就任された。豊国先生を旭川大学から信州大学へ迎えるために、昭和 52 年 2 月に清水先生が旭川に出向き一晩植物談義したと、「豊国さんを悼む」(植物地理・分類研究 40 巻)に清水先生が書かれている。信州に来られた時が 46 歳、亡くなられた時が 60 歳の若さでした。もっと元気に植物研究を続けられたらと悔やまれます。

先生の研究は、北海道の植物や高山植物、リンドウ科の分類に特徴づけられる。1951 年の札幌北高在学中、植物研究雑誌に「暑寒別岳高地採集植物目録」を英文で発表している。また、ラテン語が堪能なことも良く知られている。1956 年に発表された論文「北海道産リンドウ属植物」(植物分類, 地理 16 巻)は、北海道のリンドウ科を 9 種 1 亜種 2 亜変種 2 品種にまとめられ、全文がラテン語で書かれているが、24 歳の時と思われる。私は同じ年頃の大学院時代にラテン語の授業も受けたが上達しなかった。長野県植物研究会誌にも 14 号から「(講座) 植物学ラテン語初歩 (1) ~ (5)」として解説し

ている。先生が書かれた論文は英文のみならず、羅文、独文、仏文のものもあり語学に堪能であったことがうかがえる。1987 年には「植物学ラテン語辞典」を出されていて、植物分類学にたずさわる研究者のバイブルになっている。また、山溪カラー名鑑「日本の高山植物」(1988 年第 1 刷)は先生の高山植物研究の集大成である。そのまえがきには、「私が登山を始め、高山植物に興味をもつようになったのは 1946 年ごろである。そのころ山に登るたびに夢のようなことを考えた。それは、1 冊で登山口から山地帯、亜高山帯と登山道沿いに沿って見られる主な植物がわかり、高山帯に足を踏み入れるや、そこに生えている種子植物とシダ植物のほぼ 100 パーセントが調べられ、しかも岩に付着しているコケ植物や地衣植物もわかる本、そして何よりも写真が美しい図鑑があったら、どれほど登山が楽しくなることだろう。それから 42 年を経て夢が実現した」とある。北海道に生まれ、山国信州でも高山植物に接することができ良かったのではないと思う。それらの植物研究とは少し趣が異なるが、花粉研究にも取り組んだ。先生の花粉研究は、分類学的な花粉形態といったものではなく、環境モニタリングの観点からアレルギー源となる可能性のある空中花粉・胞子の観測のため研究である。1983 年にはストックホルム花粉研究所を訪れている。長野県植物研究会誌には、「花粉学入門 (1),(2)」を書かれている。海外調査としては、1979 年 10 月 1 日から 3 か月間、文部省科研費により清水建美先生他 3 名とともにタイ国植物相調査に参加されている。

日本産リンドウ科の分類における命名については以下のようなものがある。現在使われる標準学名のもを記載した。

新属の記載：

サンブクリンドウ属 *Comastoma* Toyokuni, genus novum, Bot. Mag. Tokyo, 74: 198(1961). Type : *Comastoma tenellum* (Rottb.) Toyokuni

新種新品種：

* 大塚 孝一 〒380-0952 長野市宮沖 199-1

コヒナリンドウ *Gentiana laeviuscula* Toyokuni (1961)、ハマエゾリンドウ *Gentiana triflora* Pall. var. *japonica* (Kusn.) H.Hara f. *crassa* Toyokuni et Satomi(1958)、ホソバオヤマリンドウ *Gentiana makinoi* Kusn. f. *stenophylla* Toyokuni (1963)、キリシマリンドウ *Gentiana scabra* Bunge var. *buergeri* (Miq.) Maxim. f. *procumbens* Toyokuni (1963)、タマザキエゾリンドウ *Gentiana triflora* Pall. var. *japonica* (Kusn.) H.Hara f. *semiglobularis* Toyokuni(1979)。その他エゾオヤマリンドウ、シロバナリシリリンドウ、ホロムイリンドウ、クモイリンドウ等新組み合わせ多数。

著書：

「植物学ラテン語辞典」(1987年 至文堂)
 「復刻・拡大版 植物学ラテン語辞典」(2009年 ぎょうせい)
 「日本の高山植物」(1988年 山と溪谷社)
 「寺崎日本植物図譜」(1977年 平凡社) 分担執筆
 「日本アルプスの花と蝶」(1979年 創土社) 分担執筆
 「朝日百科 世界の植物」(1978年 朝日新聞社) 分担執筆
 「Flora of Japan volume III a」(1993年 講談社) 分担執筆 *Gentianaceae*.(H. Toyokuni & T. Yamazaki)
 「世界大百科事典 第2版」(*Gentiana lutea* の用語解説)

論文等：

「長野県植物研究会誌」(長野県植物研究会)
 西暦年、タイトル、巻号、掲載ページを示す。単著者名の豊国秀夫は省略。共著は末尾に記入した。以下同じ。
 1979 北海道の高山植物 12: 6-11.
 1981 リンドウ類の分類体系 14: 4-7.
 1981 (講座) 植物学ラテン語初歩 (1) 14: 67-71.
 1982 (講座) 植物学ラテン語初歩 (2) 15: 71-75.
 1983 センブリ類の分類体系 16: 8-10.
 1984 ハルリンドウとその近縁種 17: 26-28.
 1984 リンネ植物園 17: 50-55.
 1984 前川先生を偲んで 17: 80.
 1985 (講座) 植物学ラテン語初歩 (3) 18: 55-56.
 1986 興味あるタイ国産リンドウ属植物 19: 3.

1986 (講座) 植物学ラテン語初歩 (4) 19: 43-44.
 1988 (講座) 植物学ラテン語初歩 (5) 21: 59-60.
 1989 花粉学入門 (1) 22: 34-37.
 1990 花粉学入門 (2) 23: 48-50.
 1990 長野県植物誌分布図作成システムについて 23: 51-52. 山本雅道・豊国秀夫
 1990 塚田松男先生の講演会について 23: 31.
 井上健 (1993) 前会長豊国秀夫氏 (1932-1992) 26: 41.

「北陸の植物」・「植物地理・分類研究」(北陸の植物の会・植物地理・分類学会)

1979年 27巻以降が「植物地理・分類研究」となる。

1954 北海道天塩国暑寒別岳高地植物誌概要 3: 38-40.
 1954 東亜産ツガザクラの研究 (1) —その植物分類及び地理学的研究史— 3: 73-76. (英文)
 1955 東亜産ツガザクラの研究 (2) —ツガザクラ属の分類— 4: 9-12. (英文)
 1955 無意根山高地植物区系の概観 4: 37-39. 豊国秀夫・田中厚
 1955 北海道の超塩基性岩植物について (1) 4: 97-101. (英文)
 1956 北海道の超塩基性岩植物について (2) 5: 12-15. (英文)
 1956 北海道の超塩基性岩植物について (3) 5: 81-84. (英文)
 1956 北海道の超塩基性岩植物について (4) 5: 115-116. (英文)
 1957 北海道の超塩基性岩植物について (5) 6: 17-20. (英文)
 1957 チチプリンドウ 6: 31-35. (英文)
 1957 ウスユキソウ北海道に産す 6: 35.
 1957 チチプリンドウ第2の産地 6: 35. 豊国秀夫・里見信生
 1957 北海道の超塩基性岩植物について (6) 6: 63-67. (英文)
 1957 植物雑記 (1) 6: 103-105. (英文)
 1958 ハルリンドウの一畸型 7: 22.
 1958 北海道の超塩基性岩植物について (7) 7: 37-38. (英文)
 1958 ハマエゾリンドウ 7: 52. 豊国秀夫・里見信生
 1960 北海道の超塩基性岩植物について (8) 9: 10-13. (英文)
 1960 北海道の超塩基性岩植物について (9) 9: 38-

41. (英文)
- 1961 植物雑誌 (2) 9: 66-67. (英文)
- 1961 乾燥標本の簡単な軟化法 9: 87.
- 1961 日本産リンドウの学名に関して 2 件 10: 6-8. (英文)
- 1961 大雪山植物雑誌 (1) 10: 81-83. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫
- 1966 サクラソウ属の新節テシオコザクラ節 15: 31-34. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫
- 1981 国際植物命名規約について 29: 115-119.
- 里見信生 (1992) 豊国秀夫博士を悼む 40: 78.
- 清水建美 (1992) 豊国さんを悼む 40: 78.
- 「植物分類, 地理」(植物分類地理学会)
- 1955 北海道胆振国富内付近蛇紋岩地帯の植物 16: 63-64.
- 1956 北海道産リンドウ属植物, 16: 113-119. (羅文)
- 1960 北海道のキキョウ科新見, 18: 193-197. (羅文) 豊国秀夫・野坂志朗
- 1962 サンプクリンドウ属追記, 20: 136-138.
- 1980 1979 年タイ国植物調査の記録, 31: 201-211. 清水建美・豊国秀夫・北川尚史・小山博滋・ワタチャイ, S・矢原徹一
- 1981 タイ国の高等植物における温帯要素の分類・地理学的研究 (2), 32: 37-46. (英文) 清水建美・豊国秀夫・北川尚史・小山博滋・ワタチャイ, S・テム, S
- 1981 タイ国リンドウ科植物の研究 I . ベニヒメリンドウ属について, 32: 198-203. (英文)
- 1985 第 6 回タイ国植物調査で採集されたリンドウ科及びミツガシワ科について, 36: 123-128. (英文)
- 河野昭一 (1992) 豊国秀夫さんへの鎮魂歌, 43: 172.
- 「植物研究雑誌」(津村研究所)
- 1951 暑寒別岳高地採集植物目録, 26: 283-287. (英文)
- 1951 大雪山沼の原構想湿原の植物景観, 27: 125-129.
- 1952 カオルツガザクラ, 27: 263. 豊国秀夫・五十嵐恒夫
- 1953 暑寒別岳高地採集植物目録 (補遺), 8: 219-220. (英文)
- 1953 北海道植物備忘録, 28: 250-254. (羅文)
- 1957 ユキバヒゴタイの第二の産地, 32: 220-222.
- 1960 ヤクシマリンドウの分類上の位置, 35: 201-204. (独文)
- 1960 サンプクリンドウに於いて, 35: 225-228. (独文)
- 1961 リンドウ科植物新見 (1), 36: 240-244. (英文)
- 1983 シロバナアサマリンドウ, 58: 315.
- 北海道の植物関係 (以下のネット文献目録を参考に作成した) (原著にあたっていないものが多い)
- <http://bouhulin.a.la9.jp/mokuroku.html> (2019.1.10 参照)
- 1962 大雪山麓のフロラ研究 I 白雲岳及びその附近の植物小誌, 大雪山自然教育研究施設研究報告 1(1): 1-16. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫
- 1963 大雪山麓のフロラ研究 II 大雪山高山帯リンドウ科植物誌, 大雪山自然教育研究施設研究報告 2(1): 1-13. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫
- 1963 大雪山麓のフロラ研究 III 湧駒別及びその附近の植物小誌 (其の 1), 大雪山自然教育研究施設研究報告 2(1): 14-22. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫・松永圭朔・斎藤孝志
- 1965 大雪山麓のフロラ研究 VI 湧駒別及びその附近の植物小誌 (其の 2), 大雪山自然教育研究施設研究報告 4: 1-17. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫・松永圭朔・滝薫・土肥芳明
- 1966 大雪山麓のフロラ研究 VII 高根力原化雲岳間植物小誌 (其の 2), 大雪山自然教育研究施設研究報告 5: 1-17. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫・浅利栄吉・永井延和・笠原義幸・小島田幸子
- 1966-1969 北海道中部および北部超塩基性岩地帯植物の研究 (其の 1) - (其の 5), 和寒町・幌加内町、及び北大天塩演習林、旭川付近の蛇紋岩地帯の植物, 北海道学芸大学紀要 (第二部 B) 16(2): 99-113 (1966 年), 18(1): 16-23 (1967 年), 19(1): 20-26 (1968 年), 19(2): 79-81, 20(1): 16-19 (以上 1969 年). 稲垣貫一・豊国秀夫・他
- 1967 大雪山麓のフロラ研究 VIII 大雪山麓シオガマギク属植物, 大雪山自然教育研究施設研究報告 6: 1-10. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫・清尾徹・鶴舎博
- 1969 十勝岳火山群富良野岳の特記すべき植物について, 大雪山自然教育研究施設研究報告 7-8: 27-30. (英文) 稲垣貫一・豊国秀夫・山下進

- 1971 北海道の超塩基性岩植物, 郷土の科学 68: 12-13, 北海道地学教育連絡会.
- 1972 夕張・日高山系高山植物区系中の周極要素について, 国立科学博物館専報 5: 183-201.
- 1972 北海道特産のサクラソウについて, えぞやはな 10: 8-13, 小樽山草会.
- 1974 北海道中央高地の特殊なオトギリソウ, えぞやはな 12: 4-7.
- 1975 北海道高山のラン科植物, えぞやはな 13: 7-14.
- 1976 イソツツジについて, えぞやはな 14: 6-8.
- 1977 大雪山のラン科植物, えぞやはな 15: 2-4.
- 1977 リンドウの分類と生態, 植物と自然 11(7): 4-10, ニュー・サイエンス社. 豊国秀夫・豊国やなぎ
- 1979 日高山脈の固有高山植物, えぞやはな 16: 6-8.
- 1980 天然記念物の高山植物, 植物と自然 14(7): 16-22.
- 1981 キンボウゲ科の高山植物三種, 趣味の山草 15: 1-7, 北海道山草趣味の会.
- 1982 北海道の固有高山植物, 北方山草 3: 3-6, 北方山草会.
- 1982 ユウパリクモマグサについて, 趣味の山草 16: 2-4.
- 1983 シベリアの古典植物文献あれこれ, 北方山草 4: 3-7.
- 1984 外国産のリンドウ, 趣味の山草 18: 1-9.
- 1984 20 世紀の極東亜北部の植物文献あれこれ (1), 北方山草 5: 3-7.
- 1985 ゲンチアナ・ウエルナとその近縁種, 趣味の山草 19: 1-8.
- 1986 北海道中央高地の高山植物 (1), 趣味の山草 20: 1-8.
- 1988 ハクトウクワガタとヒメクワガタ, 北方山草 7: 3-10.
- 1988 日本の高山帯ユキノシタ属植物 (I), 趣味の山草 22: 1-4.
- 1989 日本産リンドウ節のリンドウ, 北方山草 8: 1-7.
- 1989 日本の高山帯ユキノシタ属植物 (II), 趣味の山草 23: 1-6.
- 1990 ヒダカソウ属の新植物, ヤマケイ・フラワー・クラブ 1: 30-31, 山と溪谷社.
- 1990 日本の高山帯ユキノシタ属植物 (III), 趣味の山草 24: 1-7.
- 1990 日本産オヤマノエンドウ属 (Oxytropis) の植物, 北方山草 9: 9-12.
- 1990 日本の高山帯ユキノシタ属植物 (III), 趣味の山草 24: 1-7.
- 1991 ツガザクラ類の分類, 趣味の山草 25: 1-4.
- 1992 高山植物の区系植物地理学的研究法 - 日本の高山植物を例として -, プランタ 22: 23-30, 研成社.
- その他
- 1961 新属サンプクリンドウ属, 植物学雑誌 74(874): 198. (仏文)
- 1964 ミヤオソウ科を二亜科に分割する新しい手があり, 植物学雑誌 77(911): 197-198. (独文)
- 1980 長野県産の貴重なリンドウ科植物. 信州の自然環境モニタリングと環境科学の総合化に関する研究: 32-36.
- 1984 ストックホルム花粉研究所と空中花粉研究, 信州大学環境科学論集 6: 127-130.
- 1986 長野県の空中花粉同定 (1), 信州大学環境科学論集 8: 58-67.
- 1988 長野県の空中花粉同定 (2) 主要花粉・胞子形検索表 (1), 信州大学環境科学論集 10: 130-134. 豊国秀夫・大洞真平・鈴木博之・西川嘉雄・野坂宏樹・大沢健治・横山千佳
- 信州大学教養部紀要 (Journal of the Faculty of Liberal Arts, Shinshu University) 豊国氏単著
- On some noteworthy plants from Hokkaido, Japan, Journal of the Faculty of Liberal Arts, Shinshu University, No.13(1979): 127-133.
- Notes on the floristic phytogeography of the alpine flora of Hokkaido, Japan, Journal of the Faculty of Liberal Arts, Shinshu University, No.14 (1980): 189-200.
- A preliminary note on the floristic phytogeography of the alpine flora of Japan, Journal of the Faculty of Liberal Arts, Shinshu University, No.15 (1981): 81-96.
- An outline of the ultrabasicosaxicolous flora of Hokkaido, Japan, Journal of the Faculty of Liberal Arts, Shinshu University, No.16(1982): 99-106.
- A few nomenclatural changes in the alpine flora of Hokkaido, Japan, Journal of the Faculty of Liberal Arts, Shinshu University, No.17(1983):

101-107.

Über eine neue art der gattung *Gentiana* (*G. wehrlii*,
sp. nov.) aus Birma, *Journal of the Faculty of*
Liberal Arts, Shinshu University No.19 (1985):
203-206.

A brief note on *Gentianopsis yabei* and its
infraspecific taxa (*symbola Gentianologica*3),

Journal of the Faculty of Liberal Arts, Shinshu
University No. 21 (1987): 151-155.

On the systematic position of the so-called *Veronica*
nipponica (*Scrophulariaceae*), *Journal of the*
Faculty of Liberal Arts, Shinshu University,
No.22(1988): 207-210.